

歴史が息づく いにしえロマンの里

酒生公民館

1 酒生地区の概要

福井駅より東方に位置する酒生地区は元足羽郡酒生村である。町村合併により足羽村から足羽町への変遷をたどり、昭和 46 年に福井市に合併してから現在に至る。

地区には、梅野・稲津・荒木新保・荒木・成願寺・篠尾・高尾・前波・宿布・高尾第一・篠尾台の 11 町内が、国道 158 号線に沿って東西に細長く点在している。高尾第一は、篠尾町から高尾町にまたがる天神山を開発して造成された新興の町である。

足羽川の北側に位置して北陸自動車道の福井インターを有している。北側には、岡保地区、西側には、和田地区、東側には、美山地区、南側には、東郷地区、六条地区と境を成している。

成願寺町、篠尾町、高尾町一帯には古墳が多く点在し、特に篠尾町にある廃寺跡五重塔礎石と天神山古墳群（酒生古墳群）は有名である。

平成 29 年 9 月 1 日現在の世帯数は 1,149 戸、人口は 3,379 人である。

2 遺跡祭りで地区住民の団結を

福井市の施策である「うらがまちづくり推進事業」の一環として、酒生地区では、平成 9 年に遺跡祭りがスタートした。酒生まつり推進協議会を立ち上げて、イベントのテーマを何にするかについての話し合いが重ねられていった。その中で、①一乗谷より早く酒生地区が栄えていたということ、②酒生地区に点在している古墳群が 330 基余りあり北陸最大規模であるということ、酒生をあらわすには、遺跡が最適であろうということになり、遺跡祭りが始まった。

7 月の第三土曜日に開催されている地区最大のイベントである。小学生や青年グループ「さこう工務店」が祭りを盛り上げている。古墳時代をイメージした衣装を着て、灯火行列を行い、11 自治会長がグラウンドの聖火台で点火をして、地区の団結を祈願している。

平成 16 年の福井豪雨で地区内の前波が浸水被害に



【灯火行列】

あったので、この年の遺跡祭りは中止になり、本年度で丁度 20 回目になり、7 月 15 日（土）に「おめでとう！はたちの酒生遺跡祭り」と盛大に開催された。

開会式では、酒生まつり推進協議会の吹矢会長が、「この催しは、みんなが酒生地区の尊い歴史に愛着と誇りを共有して、親睦をいっそう深める絶好の機会があります。ご家族で参加して、大人も子どもも和気あいあいと楽しく過ごし、そして、明日からのより良い酒生づくりにつながることを願っています。」と挨拶をして始まった。

地区全戸に事前に配布されたプログラムには、次のように招待文が書かれている。



【楽しいプログラム】

「酒生遺跡祭り」は今年 20 歳になったよ！今年の遺跡祭りは、火おこしや勾玉づくりを体験できる古代体験村」が登場。子ども会育成会の「酒生ふるさ

とかるた選手権」では、グラウンドで「大きなかるた」をみんなで楽しみ、酒生小学校PTA教育企画事業では、子どもたちの手作りスタンプによる巨大パネルの前で、夢を乗せた風船を大空に飛ばします。他にも幻想的なビオトープ周辺のライトアップやますますパワーアップした屋台村など、20周年記念イベントが盛りだくさん！是非ご家族そろって参加してね！
さこんちゃんより

「遺跡祭り」は、午後3時の屋台村の開村から始まり、午後8時35分の打ち上げ花火のフィナーレまで、大変盛りだくさんの内容である。

3 「さこう工務店」が地域を支える



【おめでとう二十歳のパーティー】

平成13年の福井市の「青年活性化事業」を受け、酒生地区では、平成15年に、青年グループ「さこう工務店」が発足した。発足までには、地域の方々のご苦勞があり、それが実を結んだのである。「さこう工務店」のユニークなネーミングは、土木建築のように、自分たちが酒生の土台を作っていくという意味である。活動目的は、①地区の行事に積極的に参加し、地域の方々との交流を深める。②行事や屋台の企画や運営を行い、仕事では得られない体験や達成感を味わう。③気の置けない仲間たちと自由に語り合う。主な活動は、①おめでとう二十歳のパーティー 新成人のお祝いの式典・宴会の企画運営と「さこう工務店」への勧誘。②さこうウォーカー 地域の清掃を行いながら、地区内を散策し、地区内の特色を知る。③遺跡祭り 屋台の出店とステージ発表を行い、地域の方々との交流を深める。④もちつき大会 杵と臼を使ったもちつきを子どもたちが体験

し、できたてのおもちを振る舞う。活動の成果としては、地域の人から声をかけられ、自分たちが活動していることでこんなに喜んでもらっているということを実感している。また、子どもたちの憧れの存在になっている。将来、自分たちがこの地区を支えていくのだという意識を持つようになった。地区全体でお互いの活動を認め合い、温かく支援していく風土が生まれた。平成18年度には、日本青年団協議会より、長期間にわたる実践活動が認められ、「地域青年実践大賞奨励賞」を受賞している。



【足羽一中小のお店】

また、公民館では、中学生を公民館活動に引き込むために、4年前から、5月に行われている区民体育大会で、中学生たちが企画したお店を出店し、他の団体のお店のスタッフとして手伝いもしている。

4 終わりに

「さこう工務店」を経験した若者が地区内の各種団体の役員になり活動しているので、公民館活動も大変円滑に進められている。また、中学生に公民館活動に参加してもらうために、中学校、保護者、中学生本人と何回も話をし、理解をしてもらえるようになり、今年で3年目になった。これからも、継続的に公民館活動への理解を得られるような取組をしていくための地道な活動を続けていきたい。

公民館のホームページが頻繁に更新されているので、日々どのような活動が行われているのかを知ることができます。また、「遺跡祭り」のプログラムは、毎年楽しいアイデアがいっぱい詰まったものになっていて、地区の人たちにとって待ち遠しい楽しみになっているように思います。